

2019.10.17(木)
第15回例会
(通算 3568回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知ってより大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860
		☎	0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー

第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間
本日のプログラム	地区大会打を終えて (担当: 親睦活動委員会)
次週例会	電気主任技術者制度について (担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 「我等の生業」

■ソングリーダー: 杉浦 裕之君

■会員数 100名

■ビジター なし

■ゲスト なし

■ニコニコ献金

- 吉田 潤司君・・・皆様のおかげで地区大会無事終了しました。ありがとうございます。
- 青田 敏治君・・・地区大会皆様の協力で終了することが出来ました。ありがとうございました。
- 杉山 宏司君・・・地区大会で総務部会として会員の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。
- 邵 龍珍君・・・地区大会お疲れ様でした。特に運営部会の各委員会の皆様お疲れ様です。
- 土橋 賢一君・・・皆様お疲れ様でした。皆様のご活躍のおかげをもちまして、無事終了できました。ありがとうございました。

今年度累計 241,000円

会長の時間 天方 智順 会長

皆さん、こんばんは。お客さま紹介忘れていました。



吉田潤司ガバナー、夫人がお見えでございます。皆さまより歓迎の拍手をお受けくださいませ。

何よりも地区大会終わりました。本当にありがとうございます。

クラブ会長としてもありがとうございますと言わなきゃいけないですし、いろんな意味で皆さんにありがとうと言いたいです。

嬉しかったことが何個かあります。

1点目、私の年度の7月になってから例会場でお会いしていなかった人が、結構、地区大会の手伝いに見えられて本当にありがたいものだなと思います。地区大会という言葉がもつ意味と一種のマジックみたい

なもので、それにつられてといったら失礼でしょうけど、お手伝いに来ていただいた方が何名もいて本当に嬉しく思います。

後日談がありまして、ご存じのように台北中央から13名の方が見えられて、13日の朝にプリンスホテルで送って、彼らは2泊オホーツク方面観光して15日の朝に女満別空港から台北へお帰りになるので女満別空港まで見送りに行こうと思ひまして、一人で行くのも嫌なものですから妻と犬を誘って行きました。私はすっかり勘違いしたのですが、2泊とも彼らは知床温泉のホテルに泊まるものと思っていたら、14日は網走市内のリゾートホテルに泊まり、私と一緒にホテルでした。

何の気なしにチェックインして風呂に行ったら、どこかで見たことがある人たちが裸でいるのですよ。そこで「ハロー アゲイン」とかやって、台北中央の個室宴会に妻ともども呼ばれ、すごく歓待を受けたのでございます。そういうご縁で妻が急遽、台北に行くこ

とになりました。よかったなと思っております。これも会長冥利につきますことと思います。

何はともあれ、ひと段落ではございますが、私の年度も続きます。吉田潤司ガバナーも来年のハワイのホノルル世界大会があって、まだガバナーでございます。やはり一丁上がりという気分の方も多いと思います。この後、決算等まだまだ頭を悩めるメンバーがこの中にいることも忘れないでください。何はともあれ、今日は皆さんで楽しくひと時を過ごしたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 地区大会を終えて

感謝のお言葉 吉田 潤司ガバナー

皆さん、こんばんは。地区大会が無事に終了しました。その前の公式訪問からずいぶん皆さまにお世話になりました。地区大会でもたくさんお世話になりました。本当にどうもありがとうございました。ちょうど台風が来ましたものですから、地区大会終わりました後にあらい会長代理が、飛行機が取れず、私の同期のガバナーも帰れなかったので、急遽、バスを仕立てて阿寒湖畔で1泊してまいりました。

R I 会長代理といろいろお話しましたが、会長代理は「とても緻密に地区大会が進行していて、素晴らしい。会員の皆さんが一夜漬けでやったのではなくて、何日も何日も会議を重ねながら作ってきたことを十分感じました。帰ってからの報告も鼻高々で報告します。本当にお世話になりました」と言っていましたので皆さまにお伝えをしておきます。

私も地区大会の時は、あまり上がらない方だったので、あれは上がったわけではなかったのですが、大失敗をしました。私も例会は40年もなって1,000回くらい出ていましたが、まさか鐘を空振りするとは思っていませんでした。空振りしたことは誰も見たことないですね。あれは、鐘の叩くポイントがあって、そこを叩くと良い音がすると言われていたのです。

それを一生懸命探していて、鐘のギリギリのところだったので、空振りをしました。でも慰めで、「長嶋でも空振りするのだから」と変な慰め方されましたけど、決して笑いを誘ったわけではなくて、真剣にやった結果、ああなりましたことだけ弁解させてもらいます。

いずれにしましても、本当にお世話になりました。ほとんどパストガバナーになった気持ちなのですが、

周年やIMなど何だかんだありますので皆さま方にお世話になると思います。これからも私を見捨てないで助けていただきますようお願いいたします。そういう意味で、家内からも助けてくださいを含めて、挨拶させます。

吉田 敦子ガバナー令夫人

こんばんは、このような貴重な時間を頂戴して本当にありがとうございます。

今日は私がお挨拶ということではなく、主人ともども、本当に感謝したいと

いう気持ちで頭を下げさせていただきたくて、ここにお伺いしました。

地区大会も私、2か所ほど今まで訪問させていただいたのですが、本当に釧路地区のこの2500地区大会が本当に見事だったなど。他の地区と比較にならないほどレベルの高い地区大会だったと私は感じさせていただきました。進行といい、ステージ上のプログラムの組み方といい、神戸で研修会があるのですがそれを思わせるほどの進行状態と内容で本当に素晴らしいことに感動しておりました。

私が一番、胸を打たれたのは当日の始まる前、私たちが右を見ても左を見ても頭を下げなければいけない立場の皆さんたち、このクラブの皆さまたちが一生懸命お手伝いしてくださっているのです。それで、五明さんに本当に申し訳ないという気持ちで、ありがとうございますと頭を下げましたら、「いやいや、今日は吉田潤司を男にするんだよ」と言ってくださった、その言葉に胸が詰まりました。

それで、なんて素晴らしい仲間たちなのかな。これがロータリークラブなのだという、その素晴らしさを本当に肌で感じさせていただきました。

長くなりましたけど、心から感謝しております。ありがとうございました。

乾杯のご発声 青田 敏治実行委員長



皆さん、こんばんは。地区大会、本当にお疲れさまでした。

まず、打ち上げには前々から用事がありまして出られず川合副委員長にお願い

しました。あの場において、皆さんに感謝しないとけないところでしたが、そういう事情がありました。

地区大会ですが、今、吉田ガバナーの奥様からも話があったように非常に良かったと思います。天方年度の委員会組織にハマっている皆さん方が素晴らしい力を出してくれたこと。そして、17年前の小船井ガバナーの時、われわれが動いたのですが、今の皆さんは能力が違うなど。それとスピード、これにはかなわないと。時代は17年でこんなに進んだのかというくらい、そして、うちのクラブは優秀な人が多いなど本当に思いました。

おかげさまでガバナーの空振り以外は順調にいったと思います。あの空振りで、雰囲気ぐっと柔らかくなりましたからね。演出をしたのではないかと僕は思いました。そうでないということですから。

本会議も素晴らしいし、司会の二人もリハーサルから何日も本当にお疲れさまでした。そして、懇親会に入りましてからは、私の念願だった「椅子にしたい」が会場見たら見事なものでしたね。他の地区からも「椅子じゃないか」と皆さん喜んで、普段の立席の場合は大体30～40分で帰る状態なのですが、今回は1時間10分くらいで帰り始めましたので、吉田潤司も「早めに“手に手つないで”をいきましょう」ということで、あれは見事な運営の仕方だったなどと思います。炉端焼きも大変、よく働いてくれて、あれはもう少しやりたかったなという気もします。

いずれにしても、全体に素晴らしい内容の地区大会でした。皆さま方に感謝申し上げます。乾杯に入ります。お立ち願います。

それでは、皆さまどうもありがとうございました。

(乾杯)

ありがとうございました。

各担当ご挨拶

総務部 杉山 宏司部会長



こんばんは。皆さま方、本当にお疲れさまでした。総務部を担当しました杉山です。

私は個人的には地区大会のような、大きな大会が初めてだったものですから、実際にはうまくできるのかなと心配しておりました。私たち委員会のメンバーが私をしっかり支えてくれて無事に終わることができました。中でも、特に各委員長ならびに各委員の皆さまがおそらく他の部会の皆さんよりすごく頑張ったのではないかと思います。

8月のお盆休みなのですが、青田実行委員長に「お盆前までに案内書を送れ」とキツイお言葉をいただきまして、村上委員長が息子さんを連れて事務所で送付

しました。そのアルバイト代は事務所に請求すると思いますので青田実行委員長、よろしく願いいたします。

それと、今日お配りしています冊子に入っているノベルティ、こちらは各企業さんをお願いしたところ、皆さん気持ちよくご協力していただきました。数量は1,200個だったものですから、そんなに集まるのかなと心配していましたが、皆さま方のご協力で1,200個も集まることもできました。そういうことでは皆さま方に助けていただいた地区大会だなと思います。

特に私が頼りにしていたのが川本副委員長です。歳は私より下なのですが、私は頼りない兄貴で川本さんには本当にお世話になって、私がこの大きな顔をして立てるのも川本さんのおかげだと思います。本当にありがとうございました。

それでは、川本さん、一言よろしく願いいたします。

総務部会 川本 和之 副委員長



皆さん、こんばんは。本当に各部所、部所でこの地区大会にむけてご苦労いただきました。ありがとうございました。われわれ総務部会は

出だし早く、たぶん最後に記念誌ですとかでは最後まで携わる部所なのかなと思っております。

僕も記憶にないのですが、どうも西村君からどさくさに紛れて「総務部会を何とかしてくれ」みたいなオファーがあって、「杉山さんが部会長だから大丈夫、フォローしてくれるだけでいいから」と。その後「おい西村、この間、何か言っていたけど何だったけ」と言ったら、どうも総務部会ということです。とにかくロータリーは、経験者を増やしてみんなが平等に頑張るというクラブです。私は杉山さんの補佐をただけです。時々、相談事で連絡が来るのですが、「これはしなくてもいいよ」というのはすべて上の方で変更になっていて言わざるをえないことで、杉山さんには拙いアドバイスでご迷惑をおかけしたことがたくさんありました。

でも、多分、総務部会を担当された皆さんは、この経験をいつになるか分かりませんが生かしていただけるものと期待できる経験をさせていただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

どうもありがとうございました。

運営部会 土橋 賢一部会長



皆さん、お疲れさまでした。実行委員会が始まった当初、どうなるかなと思いましたが、実行委員会を重ねれば重ねるだけ、だんだん不安になってきました。た

だ、皆さんはさすがです。一日目、二日目の司会のお三人、そして、分けて考えるのは嫌なのですが、転勤族の皆さんと入会間もない会員は素晴らしかったと思います。本当、お世話になりました。

この大会が成功できたのは、自分の部会だけではなく、グッズの袋詰めから懇親会の片づけまで、皆さんがこうやって一緒にやれたことが大変いい経験になりましたし、大変いい思い出になりました。皆さん、どうもありがとうございました。

自分の挨拶で終わるところでした。今日は市橋委員長がまだ仕事しておりますので、吉田委員長と邵委員長、お二人上がっていただいて、一言お願いいたします。

吉田 英一会員



皆さん、こんばんは。真面目な話をさせてもらおうと上がったのですが、僕はロータリークラブに入会してまだ日は浅いのですが、そういうキャラになってしまったのかなと実は後悔しております。

ガバナーに一度、帯広ロータリークラブの例会を一泊二日で付いて行かせていただいた時に、吉田の“よ”は良いで、吉田の“し”は紳士だと言いまして、私は悪い吉田だから何なのかなと考えたのですが、そういうキャラになってしまったと思います。

今回、西村さんと土橋さんから運営の委員長を仰せつかりましたが、実は自分が委員長だったのを知らなくて、誰かに「お前が委員長だぞ。どうなっているの」と言われて、「僕、委員長なんですか」となって、違う組織図を見ていて副委員長に連絡したら「俺は、違うぞ」とか言われて、「土橋さん、これはどうなっているのですか」と言ったりしてのスタートから始まりました。二回連続して実行委員会も行けないですね。全く、準備もできていなかったのです。

そこで、やはりガバナーに一泊二日で行かせていただいた時に、ガバナーのすごい思いを各ロータリーの例会でお話をし、僕にも伝わりまして、「この地区大会はガバナーのご苦労さん会みたいなもの

だ、ガバナーに喜んでもらえることをすればいい」とどなたか先輩に教えてもらいました。僕はロータリーをほぼ出ていなくて、ロータリーのことはほぼ分からないのですが、だけでも上手く行く、大丈夫だとずっと思っていました。この上手く行くか上手く行かないかの条件で、上手く行く人は上手くいくストーリーをずっと描いている。上手く行かないひとは上手く行かないストーリーをずっと描いているというような観点から、組織論から見て、リーダーシップの一番の条件としては自分の以下の能力を最大限に引き出し、集結させることがリーダーシップの定義であることから、僕の仕事はイメージをまず作って、そして一人一人の能力を最大限に引き出すことに専念することです。

僕は能力が全く高くないのですが、委員会メンバーの支店長クラスの皆さま方は非常に素晴らしい能力を集結できたので、何とか今回、良いように・うまい具合に・イメージ通りに仕上がったのかなと思っております。

そういう意味では、本当に温かく見守っていただいた土橋さんの愛情がたっぷりと伝わってまいりましたので、非常に勉強になりました。しばらくスリープをしようかなと思っています。何とか今後とも引き続きよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

接待委員会 邵 龍珍会員

土橋組の三大組長の一人、邵でございます。一番、顔は怖くないですから。

われわれ、接待委員会は今回、残念ながらタイは来られなかったですが、姉妹地区・韓国と姉妹クラブ・台北中央ロータリークラブの接待プラスRI会長の会場と会場での移動のアテンドで頑張らせていただきました。ずっと同行なので、申し訳ないけど皆さんは陰ながら努力していたことをわれわれは見えていなかったのです。でも、大成功したということはお一人お一人の陰ながらの力があってこそその大成功だったと僕は確信しております。一緒に汗を流せなかったのは大変申し訳ないと思いつつ、今日を迎えました。

韓国の方から、10名来られました。この政治的な問題で飛行機が運航していないという中で、朝2時に晋州から夜間バスでインチョンに行き、そこから千歳に入って、釧路に入って来たのが10日の4時半でした。たくさんの皆さんに歓迎していただいて、その後、地区のガバナーはじめ、白幡さん、青田実行委員長、地区の役員の方々が同行していただいて、会食をさ



せていただきました。そこで、すごく盛り上がったのです。青田実行委員長が「兄貴」「兄貴」と言われて「イッキ合戦」をやったぐらいにフレンドリーな中で3590と2500地区の姉妹地区の関係が本当に温かくなって、三日間を過ごさせていただいたのでございます。

前田青少年委員長が来年、交換学生を連れて韓国に行きますので、自分をアピールして向こう行ったら楽になれるように今回すごく頑張ってくれました。韓国の方が「今回の地区大会を見て本当に素晴らしい。学ばせていただきました」という言葉をいただきました。

やはり、この歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの皆さまがホストになったこの地区大会、大変素晴らしい地区大会になったと思います。皆さん、お一人お一人に感謝を申し上げまして、私からの一言と代えさせていただきます。

この間、土橋組長に圧をかけられました。「任せるから」と何のアドバイスもなくガンだけ飛ばされたのですが、無事終了しましたありがとうございました。

柿田 英樹会員



すみません、全然用意していなかったけど。

仕込みの時間がすごくかかりました。当日の朝9時に集合しての火起しでは、火を起すものがな

かったからホームック行って文化たきつけとチャッカマン買って来て、初めて火が起きて。みんなその前でポー然と立っているのです。

いろいろ食材を準備して火を通して温めて、発泡スチロールに入れて保温して「6時になったら始まる」それまで万全を期したのです。

そして、始まったら5分で全部終わっちゃった。あれだけ一生懸命やったのに5分です。思ったのはみんな本当に初めての経験ではないかもしれないけど、知恵を出しあって、本当に地区大会を成功させようという気持ちが、大成功の短時間・5分で終わらせることができた。あれは、焼きながらやったら何時間あっても足りなかったです。一生懸命に食材もそろえて「どうだ!」と思ったら5分で終わった。実はたった5分だけど5分はすごくいい時間。ものすごいいい経験だったなと今、思いました。

これは本当に皆さんのおかげでありますし、努力していただいた市橋さん、黒田さん、頑張っていました。同じ部会の人たち本当に感謝します。

ありがとうございました。

ゴルフ部会 濱谷 美津男委員長

お疲れさまでございます。ゴルフ部会を担当してました、濱谷でございます。式典など、当日は全然見られていないので、逆に外から見れたという気がします。皆さん、まとまっているいろいろな頑張った結果が今回の成功につながったのかなと思います。



ゴルフ部会ですが、ゴルフのことを分かっている人があまり行ってなくて、何か単独で指示を出してやっていたのが、実感で、青田実行委員長と相談しながら進めさせていただきました。ゴルフの記念大会のメーカーがロットの関係で多く買ってございまして、皆さまに先ほど受付で差し上げてございまして、もし、もらっていない方があれば、お受け取りいただければと思っております。大変、いい大会だったと思っております。本当にありがとうございました。

中島 徳政 会員

当日のバス配車係を仰せつかりました中島でございます。

バスに合わせてずっと出発と送り出しをやっていましたが、衛星バスの回し者みたいな、衛星バスの職員のような扱いをされてございまして、大会をなかなかお手伝いできなくて申し訳ございませぬ。本当は総務の杉



山さんの下にいて、袋詰めをさせていただいたのですが、ちゃっかりそこはお仕事で稼がせていただいてしまいました。ということで、年会費分いただきま

して申し訳ございませぬ。西村さんにも電話一本で「物産を手配して」と言われまして、私の入っている物産協会にそれを丸投げし、当日の物産が4店舗、ぶちどーるさん、MOOの川島商店さん、大友チーズさん、うちの4店舗でさせていただきます。それで何とか皆さんは儲けて帰ったと報告を受けてございまして。ありがとうございます。

R I会長代理が三味線をすごくやりたくなさそうに見えていたのですが、結構盛り上がって大変お世話になりました。

公式訪問のことで私はずっとやりまして、さっきの話で「一丁上がり」と思っているのは、たぶん僕のこと

とだと思っています。

このあとは、スリープしないように頑張って普通のロータリアンとして生きていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

三ツ石 弥菜子 事務局員

皆さん、こんばんは。皆さん、地区大会お疲れさまでした。私は事務局開設以来のテンパリ具合でちょっと準備が追い付かなくて、なかなか皆さんの依頼にも



答えられずにご迷惑をおかけしたことは多々ありました。

当日も受付でいろいろ、ここもチェックすればよかったという点が結構ありまして、反省しております。

式典自体が滞りなく進んで成功に終わったと思っています。少しホッとしております。

土橋さんから本会議の最中の舞台袖で「いつまで」と聞かれて、「今日ですか?」と言ったら「いやいや、事務局」と言われて、「来年の8月までです」と言ったら、「えーっ」ってびっくりされたのです。

地区大会が終わって私は終わりじゃないので、来年8月までお世話になりますのでよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

事務局 樋口 貴広会員



事務局という立場で話をしなさいと言われてきましたが、私、話を始めたら多分2～3時間あっても終わらないので、

ちょっと何点かだけお話をさせていただきます。

今、三ツ石さんからもお話ありましたが、事務局の方でもチェック不足、至らない部分があつてご迷惑をおかけした人の方々がいます。こちらで思っているのは伊貝さん、関向さん、古谷さん、後藤さん、市橋さんには名簿出席者のチェックの甘さから大変なご迷惑をおかけしました。ただ、急な対応していただいて無事に終わったことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

それともう一点お詫びなのですが、今、三ツ石さんは柔らかく言っておりましたが、違うだろうという件がありまして、何人かに対して私も若干切れ気味で三ツ石さんも言ってしまった方が何人かいるので、その方々にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。本当に皆さんのおかげで無事に終わりました。パストガ

バナー、同期のガバナーの皆さまからも「本当よかったよ」と言われました。本当にありがとうございました。

古谷 守生会員

皆さん、地区大会お疲れさまでした。

私、会場設営の副委員長を仰せつかりまして、実行委員会に1回目が出られなかったのですが、2回目、3回目と出た



のです。「会場設営はどうなっていますか」ということに「何もやっていません」と2回目、3回目と同じことを言いましたら、青田実行委員長から「それ、ダメだな。何をやっているのだ」と言われまして、私ではなくて本当は吉田英一委員長じゃないかと思って吉田さんにメールをたくさんしたのですが、最終的に会場設営は残りひと月半で初めて会場の下見に行きました。

これはちょっと真面目にやらないとまずいぞとなり、しまいには本会場スクリーンが2つあって、その「スクリーンの原稿を誰が作る」という話になったときに、だれも私やると言わないのです。仕方ないので「私がやりますか」ということになりまして、結局、私は会社の仕事をしないで原稿を200枚くらい作ったのです。地区大会が終わって、会社のパソコンのメールは全部で142通のメールが来ていました。いろんなやり取りをしながら最終的に出来上がったのだと分かりまして、私だけの力ではないのです。本当に皆さんの力でいろんな方からメールの訂正をいただいて、やっと完成した地区大会だと私は思っています。

今回、初めての地区大会参加でしたが、非常に良い経験させていただいたと思っております。本当にありがとうございました。皆さん、お疲れさまでした。

関向 一会員



こんばんは、看板を作りました関です。今回は本当に当日まで変更、変更、すぐ修正があつたと思います。それよりも心配したのは台風19号です。看板、

でかいのを上げていたので、風ひと吹きでも倒れてしまう。そしたら、他に被害がくるのではないかと。本会議、懇親会、出られませんでした。風が強くなったらすぐ外そうとずっと待機という状態で今回は終わ

りました。すみません、ありがとうございました。

伊貝 正志会員



私は当日のプログラムを作成、商売柄どうしてもそういう形になりますけれど、これは上手くいって間違いがなく、これは上手くって当たり前。間違ったら非難ごうごう、

いつもそういう立場で仕事をやらせてもらっていますけれど、なるべく皆さんにご迷惑かけないよう間違いのない印刷物をお届けしようと思って、ギリギリまで変更、変更という覚悟はしておりましたけれど、大変な仕事でした。

従業員の女子3人も「10時くらいまで3日間残業した」と言っていました。そういうふうにならなくても皆さんにご迷惑かけないものを一番頼りにしたのは、樋口委員長と三ツ石事務局員、木下地区幹事で、最終的な結論を仰いで、それを最終的な結論として進めさせていただいた次第です。

私、最後の二日目の大懇親会の最後の締め言葉の役割が当たりまして、これは木下地区幹事が「去年のロータリーの友を地区委員長代表がやっていたので、伊貝さんやってくれ」と前例を引き出され、困っているような顔をしていたもので、引き受けうけざるを得なくなって受けました。

あの時も「手と手をつないで」で、場内が非常に盛り上がった中で私の挨拶でした。初めの「皆さ～ん！」という絶叫した形で挨拶をスタートさせたのですが、あんなつもりじゃなかったのですが、会場の雰囲気を見渡したらああいう言い回しの方が皆さん感情が高まったまま終わられることができるんじゃないかと思いましたので急遽変えて、挨拶にならんようでした。

皆さんの笑顔、特に前にいた邵さんの顔がやたらと目に入ってきて、印象が強く残っているあの時間でした。どうもいろいろありがとうございました。

西村 智久実行幹事



少々、長くなると思いますのであらかじめご了承ください。

ガバナーから宿題を受けたのは「ああいうのをやってくれ」。実行委員長からは「着座でやってくれ」という二つの命題。

それをできたのも、これは釧路市のキャパシティの

問題があります。いつも大きなスペースがない所でやると第一会場、第二会場というそれが、文化会館で一体になってできる。また、懇親会も大きい交流センターが釧路市にあって着座でできるという、これは釧路市のポテンシャルの高さを表していると感じました。それを道内に示せたことがよかったと感じております。実際、私はこういう立場でさせてもらいましたが、某青年会議所でも大きな地区大会というのは経験しておりませんでした。いかに有能なスタッフを下に付けるかだけを考えて、仕切り役に専念いたしました。おかげさまで本当に優秀な吉田英一君以外は本当に心配もかけずに全部おまかせでできました。吉田君の尻を叩いてくれたのは古谷副委員長です。本当に古谷副委員長、お疲れさまでした。

何よりも本当に楽しく成功裏に終わったのは皆さんのご協力のおかげでございます。ただ、ひとつだけ総合インフォメーションが設けてあったようなないような感じでしたので、次回何かあるときにはやはり総合インフォメーションが絶対必要だなと思っております。

僕もたまたま腕章をしておりまして、10回以上いろんな人にいろいろなこと聞かれました。たまたま僕だったから全部答えられたのですが、そういうこと必要だなと感じました。

あとで涙を流したいと思ったのですが、まだそこまではなっておりません。

ひとつだけ、記念講演の講師が一泊で帰る予定が実は台風の関係で三泊になりました。二日目、白幡さんは鶴居の温泉に行きまして、露天風呂で1時間、講師と裸の付き合いをしたそうでございます。その話は二次会で皆さん聞いてみた方がいいと思います。フレンドリーな講師で、僕も最後送る時に勝手丼を食べていただき、柿田君のところでお土産を買っていただき、楽しく何の文句も言わずに三泊し、40年ぶりに釧路に来たということで、多分あの鬼講師は、何かあった時には釧路の話を出すと思います。三泊もずっとプリンスホテルにと思ったのだけれど、白幡さんのフレンドリーな気持ちで裸の付き合い、いろんなことありました。

どうも本当にありがとうございました。

最後に奥さんには懇親会を盛り上げていただきまして、ありがとうございました。

締めのご発声 木下 正明 地区幹事

皆さん、こんばんは。本当にいろんなお話がありました。皆さん、お一人お一人が自分の能力を全部使っていただいて、吉田潤司を男にさせていただいたのだなと思っております。本当にありがとうございました。お一人お一人にお礼を言っていたら、樋口さんの三倍くらい、樋口さんが2時間だとすると僕は5時間くら

いかかるかもしれないので割愛します。

二つくらいエピソードを。私、11日の夜は2時半に家に帰ったのです。12日の夜は4時でした。神社なので4時半に朝拝とってお参りをしてお見送りが7時半だったので、片付けてからプリンスホテルに向かったのですが、多分飲酒運転でした。皆さん、チクらないでください、私の人生が終わってしまいますのでよろしく願いいたします。4時まで調子に乗って飲んでいまして、2時頃うちの嫁さんから「どうなってるんだ」とメールが来ていたので、「まあ、こうなっている」感じで上手くいったと思います。

飛行機が飛ばなかったもので、15日の午前中にお見送りをさせていただき、本当に皆さんお一人お一人のパートで、ご自分の前向きな意思で臨機応変にいろんな対応を変えていただいたことが成功につながったと思っております。

皆さん、安心しないでください。ホノルルの国際大会が待っています。何か月前に私が「国際大会、行きますよね」と言ったのに「うーん」とか「うーん、どうしようかな」と言った人は全部行くことになっています。枠は40名でございます。釧路ロータリークラブで20名以上は埋めたいと考えております。荒井剛君は、ハワイに彼女がいるみたいで「率先して行きたい」と言っております。

本当に吉田潤司を男にさせていただきまして、本当に感謝、感謝、感謝しかございません。本当に皆さんありがとうございました。

せっかくですから一発締めで締めたいと思います。キックオフの時は三本締めをさせていただきました。ここは短めに簡素で締めさせていただきたいと思えます。

それでは、今後の釧路ロータリークラブと2500地区の発展を祈願いたしまして、一発で締めたいと思えます。



[Return to Top](#)

[Return to Web Site](#)